

# 数値目標と主な重要業績評価指標(KPI)

※KPI・・・Key Performance Indicator 施策の効果を客観的に検証するための指標

基本目標	数値目標	具体的な施策	主な重要業績評価指標(KPI)：H26⇒H31
<b>基本目標1</b> 産業を振興し安定した雇用を創出する	人口に占める就業者の割合 H22：47.9% ↓ H31：50%	横芝光町の基幹産業である農業の強化	・大規模農家数 15 経営体→5 経営体増加 ・新規雇用 新規 125 人増加 ・新規就農者 8 人(H26)→25 人増加
		新しい産業 づくりによる雇用の拡大	・企業誘致 新規 1 社 ・新規雇用 50 人
		遊休公共用地の有効活用による観光産業化と雇用の創出	・観光企業の誘致 新規 1 社 ・新規雇用 25 人
		町内の雇用や起業の促進	・採用決定数 1 人 / 年→30 人 / 年 ・創業支援者数 なし→10 件 / 年 ・創業者数 なし→5 件 / 年
		特産品販路の新たな試み	・新たな販路開拓による雇用 10 人 ・新たな特産品開発商品数 3 品
<b>基本目標2</b> 横芝光町へ新しい人の流れをつくる	人口に占める 20～40 歳代の割合 H27：30.9% ↓ H31：30%	町外からの移住 受入れの強化	・サポートセンター利用移住者数(累計) 50 人 ・移住定住の相談件数(累計) 500 件
		積極的な町の魅力発信による認知度の向上	・YouTube 視聴回数 50,000pv/ 本
		若い世代に魅力のある住宅地づくり	・定住世帯 50 世帯 ・企業誘致 新規 1 社
		拠点大学や地元高等学校との連携	・COC+により町外から町に定着 50 人 ・横芝敬愛高校から町内に就職 7 人 / 年→14 人 / 年
<b>基本目標3</b> 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる	横芝光町の合計特殊出生率 H26：1.33 ↓ H31：1.50	若い世代の出会いの場づくり	・年間結婚数 102 件 / 年→100 件 / 年
		子育てに係る経済的支援	・町の子育て支援の充実度(アンケート) 58.3%→65%
		妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援	・母子健康手帳の交付件数 146 人 / 年→150 人 / 年
		教育振興と子育ての連携	・教育補助参加生徒数 のべ 200 人 ・児童クラブ待機者数 0 人→0 人
		ワークライフバランスの充実	・総人口に占める年少人口割合 10.9%→12.2%
<b>基本目標4</b> 時代に合った町をつくり広域連携を強化する	これからも横芝光町に住み続けたい人の割合 H31：70%以上	町内・町外の交通アクセスの充実	・新たなバス路線の導入 6 路線→7 路線 ・循環バス利用者 1,213 人 / 月平均→1,500 人 / 月 ・デマンドタクシー利用者 930 人 / 月平均→1,100 人 / 月
		横芝駅前広場の活用	・横芝駅利用者の満足度 50%以上
		公共施設の統廃合と公共資産経営の強化	・計画に沿った遊休資産の売却 1,000 m <sup>2</sup> ・施設のリノベーション(再利用) 1 件
		公共施設の利用率向上	・図書館利用者数 197,983 人 / 年→220,000 人 / 年
		空き地・空き家対策	・空き家の把握 0%→100%(全棟調査)
		時代に合った便利な行政サービスの実現	・アプリの登録者数 2,500 人
		災害時における子育て世帯のサポート	・子育て世帯避難時の災害備蓄品の不安定 50%以下 ・備蓄率 0%→100%
		町の核となる人材の育成	・タウンマネジメント講座修了者 50 人
		自治体連携による総合戦略の推進	・成田空港圏の戦略的な連携事業の開始 1 事業 ・山武郡市広域圏の戦略的な連携事業の開始 1 事業
		<b>基本目標5</b> 地域の魅力を最大限に活用し町を活性化	横芝光町への観光入込客数(年間) H26：72,000 人 / 年 ↓ H31：100,000 人 / 年
特産品を活用した観光客の増加	・「もつ」新メニューの開発 2 品 ・新メニュー取扱店舗数 7 店舗 ・観光客の店舗立ち寄り人数 2,000 人 / 年 ・「もつ」イベント来客者数 10,000 人 / 年		
マスコットキャラクター「よこびー」の活用	・イベントへの参加 43 回 / 年→60 回 / 年 ・グッズ総販売額(累計) 10,000,000 円		
観光情報の発信	・観光協会ホームページ閲覧者数 25,000 人 / 年 ・ホームページ効果による来客者 20,000 人 / 年 ・「るるぶ」による知名度向上 166,000 人(部)		
地域資源を活用した「ひと」「もの」の流れの向上	・新たな販路開拓による販売額の増加額 73,000 円→6,000,000 円 / 年 ・体験型農業参加者 18 人→100 人 / 年		

【内容についてのお問い合わせ先】横芝光町まち・ひと・しごと創生推進本部事務局(横芝光町役場 企画財政課企画調整班) 連絡先：0479-84-1218(直通)

平成27年12月発行

# 横芝光町人口ビジョン

## 横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略

### ～ 概要版 ～

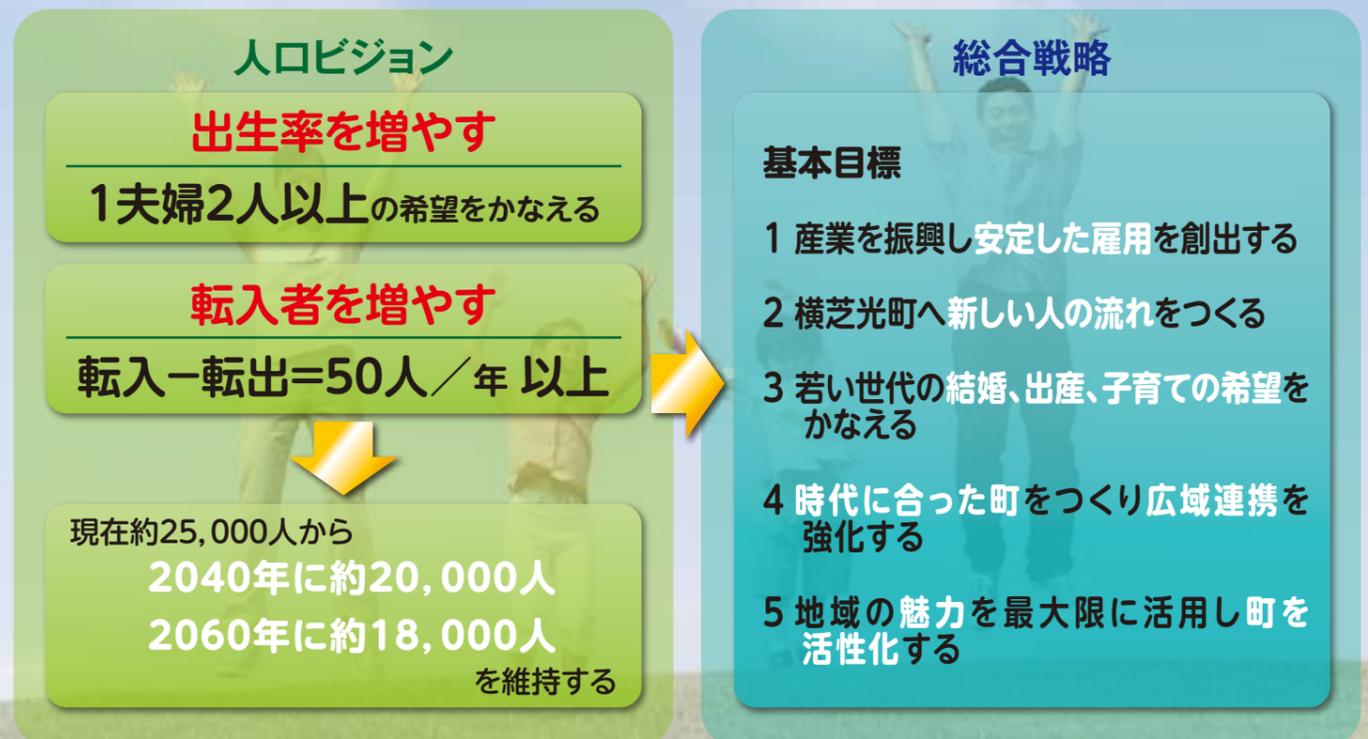
日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的に、平成26年11月、「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。

当町においても少子高齢化がすでに進行し、今後、人口減少が急速に進むおそれがあることから、人口減少の克服、地域経済の維持、活力ある地域産業の発展など様々な課題への対応が求められています。

そこで、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国及び千葉県が策定する総合戦略を勘案しながら、町民一人一人が夢や希望をもち、潤いある豊かな生活を安心して営むことができる社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保、そして魅力ある多くの就業機会の創出などを一体的に推進するため平成27年度から31年度まで5カ年の戦略となる「横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定しました。

同時に、当町の人口を多角的に推計し、2060年までの人口目標を示した「横芝光町人口ビジョン」を作成しましたので、その概要を皆様にお知らせします。

### <人口ビジョン・総合戦略の骨子>

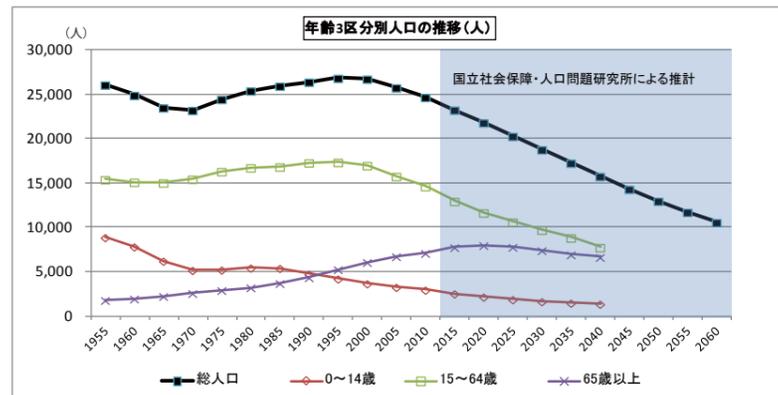


## ● 人口の現状分析

- 出生数よりも死亡数の数が上回る自然減少が続いている
- 転入数と転出数の差がほとんどない
- つまり横芝光町の人口減少は自然減が影響している

## ● 将来人口の推計

このまま人口減少が進むと、2030年には2万人を割り込み、その後2060年には1万人程度まで減少することが見込まれる。更に、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が40%以上に。



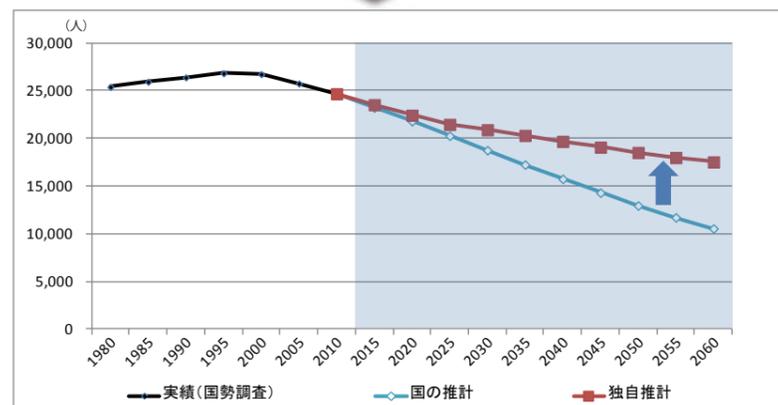
## ● 人口の将来展望

### 出生数を増やす

ひとりの女性が生涯に産む子どもの数を指数化した「合計特殊出生率」を1.33(2014年)から段階的に1.50~1.80(2030年)まで高める。具体的には2人以上の子どもを持つ理想をかなえる。

### 転出数を減らし、転入数を増やす

他市町村へ転出する人を減らし、転入者を増やす。具体的には年間50人の転入超過を見込む。



	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年
国の推計	24,668	21,790	18,755	15,748	12,962	10,557
独自推計	24,668	22,416	20,897	19,681	18,513	17,526

**総人口の目標**  
2040年 約20,000人  
2060年 約18,000人

## ● 目指すべき将来の方向

### 人口減少を克服します

町の将来を担う若者を中心とする人材確保に取り組み、町内企業を元気にし、雇用を拡大します。また、「希望する子どもの数を持てる」子育て環境の整備を進め、子育てしやすい町づくりから少子化の流れを克服します。

### 選ばれる町になります

時代に合った魅力的な町をつくり、住む人が安心して住み続けたいと思える町、住んでみたいと思われる町を目指します。

### 危機感を共有します

地方創生とあわせて既存事業の取捨選択をすすめ、町民とともに人口減少問題を共有しながら、危機感をもって人口減少の克服と町の好循環を目指します。

### 多様な人材との協働を進めます

高齢者も若者も地方創生の主役であることを呼びかけ、町に関わる人の繋がりがや、培ってきた知識や経験を多彩な分野で発揮できるような、魅力と活力に満ちた社会を築きます。

## ● 戦略の基本目標と具体的な施策(代表的な施策を紹介します)

### 基本目標1 産業を振興し安定した雇用を創出する

#### 農業の強化

農業の新たな担い手を確保するため、農業経営の法人化や新規就農者を支援し、農業後継者の育成と雇用の拡大を強化します。

#### 千葉大学との連携

千葉大学が事業主体となる「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」と連携して、高度な人材を町に呼び込む仕組みをつくりま。

#### 新たな企業誘致

町内雇用を促進するため、積極的な企業誘致を進め、「こどもの国」跡地へ観光企業を誘致します。

#### 創業支援事業計画の活用

創業支援事業計画に基づき町内への起業や第二次創業を希望する地域密着型企業に対し、関係機関が連携して支援します。

### 基本目標4 時代に合った町をつくり広域連携を強化する

#### 交通アクセスの充実

横芝駅と成田市方面を結ぶバス路線を日曜祝祭日に限り実験的に運行します。

#### 町情報発信アプリサービス

町が発信している様々な情報をスマートフォンに向けて発信するサービスを開始します。

#### 公共施設の統廃合

人口減少社会に備えるため、公共施設統廃合のアクションプランを早期に作成し、町の遊休資産を整理します。

#### 成田空港と自治体連携

広域的な連携による町づくりを推進するため、成田空港圏自治体と連携して「るるぶ」を制作し、広域的な観光PRを行います。

#### 空き家対策

空き家の放置を防止するため、空き家の全棟調査を行います。その結果に基づき、空き家対策の基本計画を策定します。

### 基本目標2 横芝光町へ新しい人の流れをつくる

#### 移住受入れの強化

町内への移住を促進するため(仮称)移住定住総合サポートセンターを開設し、移住情報の一元化と積極的なPR活動を行います。

#### 積極的な情報発信

横芝光町を愛し、町に住みたい人を増やすため、町の持つ優れた環境や地域資源を、YouTubeを活用し世界に情報発信します。

### 基本目標3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

#### 若者の出会いの場づくり

未婚化や晩婚化が少子化の要因になっていることから、地域資源を活用した若者の出会いの場となるイベントを開催します。

#### 切れ目のない支援

子どもが欲しい世帯の希望をかなえるため、新たに不妊治療費の一部を補助します。また妊娠期・出産期の家事を代行するエンゼルヘルパーサービスを創設します。

#### 子育て支援

保育料の負担軽減や医療費の無料化など、今までの対策を継続しながら、子育てに係る経済的な負担を軽減します。

### 基本目標5 地域の魅力を最大限に活用し町を活性化

#### 特産品の開発

町の特産食材の「もつ」を活用した新メニューの開発など、観光客誘致につながるイベントを開催します。また、町特産野菜の販路を拡大するため、都内にある町アンテナショップを拠点にモデル事業を展開します。

#### 交流や賑わい拠点の開発

人と物の交流を活性化させるため、「横芝光インターチェンジ」や「(仮称)産直交流施設」の機能を十分に発揮できる仕組みをつくりま。

#### よこぴーの活用

マスコットキャラクター「よこぴー」を活用し、町のイメージアップと観光客の誘致を図ります。